

親和会ライフNavi

7月号

親和会ライフナビ、7月からすべての会員にお届け！

これまで定住会員向けに毎月発行していた親和会ニュース、7月より『親和会ライフNavi』として新たにスタートします。

親和会の全会員に向けた情報誌として、より楽しく充実した内容をお届けするよう心がけて参ります。新たな親和会ライフNaviは隔月発行で、年3回会報とともに郵送、そして3回はゴミステーションの広報BOXに置き配します。合計年6回、奇数月の発行を予定しています。

タイトル変更に伴い内容も一新、伊豆高原での暮らしを、より彩り豊かで快適にする情報誌を目指します。

親和会の活動報告は“会報いづこうげん”では詳細にお伝えする一方で、親和会ライフNaviでは伊豆高原での生活や別荘ライフ

に焦点をあて、カフェ・レストラン紹介や生活に役立つ情報、伊豆高原ならではの魅力的なコラムを掲載します。



ひきつづき会員のお庭や趣味の紹介、地域のイベントやサークル活動、近隣のオススメ情報をお知らせするほか、地域が抱える課題についても皆さまと共有いたします。

本誌は広報委員のボランティアが取材・編集し、コストを抑えたネット印刷にて制作されています。どうぞ温かい目でご覧ください。また、会員の皆様からの投稿も大歓迎！お庭や趣味の写真とともにエピソードをお聞かせください。皆さまの親和会ライフNavi、どうぞよろしくお願いします。

親和会広報モニターも募集中！
【広報 e-mail: shinwakai.pr@gmail.com】

1月

会報 夏号

親和会ライフ7月号

郵送します

地区連絡会

9月

親和会ライフ9月号

GSに置き配

地区連絡会

11月

会報 秋号

親和会ライフ11月号

郵送します

地区連絡会
防災訓練
一斉清掃

1月

親和会ライフ1月号

GSに置き配

地区連絡会
防災訓練
一斉清掃

3月

会報 春号

親和会ライフ3月号

郵送します

地区連絡会
(班長の引継ぎ)

5月

親和会ライフ5月号

GSに置き配

親和会総会

伊豆高原分譲地および南大室台分譲地の快適さ、安全性、美しい景観は、多くの方々の支えによって守られています。親和会では、ボランティアの役員12名と委員・班長55名が日々尽力し、環境の維持と美化に努めています。

また、定住会員の皆さまによる日々の側溝やゴミステーションの清掃活動が、この分譲地の快適な環境を保つ最大の力です。これほどの素敵なかいわんが維持されているのは、皆さまの献身的なご協力があってこそ。

他の別荘分譲地と比べて低額な会費にもかかわらず、この美しい環境が整えられていることにぜひご理解とご感謝をお願い申し上げます。

春と秋には、各地区で一斉清掃を実施しています。分譲地の価値を未来へつなぐため、別荘所有の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。日程等の詳細は「親和会ライフNavi」にてお知らせいたしますので、ご確認ください。

薔薇咲いた朝 新市長誕生す

市議会での所信表明から一夜明けた6月17日、多忙を極める田久保真紀市長に貴重なお話を伺いました。（市長応接室にて、親和会広報 水野純子・福田）

水野記者）田久保市長のテーマカラーは紫色ですが、それには何か思い入れがあるのですか。

あるんですよ！（とスマホのカバーを見せて）大好きなゲームアニメ「うたのプリンスさま」のヒーロー、私の推しの「一ノ瀬トキヤ」（声は宮野真守）はいつも紫のマフラーなんですよ。だから私の周りは紫のグッズがいっぱいあるんです。

記者）えー意外！市長さんがぐっと身近に感じられます。では、本題。新図書館の建設は中止されました、市長は「図書館建設に反対しているわけではない、システムそのものを考え直したいと仰っていますが。



まず大前提として図書館は必要なものです。その上で市民の皆さんにとってどういうものが本当に求められているのか、今の図書館は老朽化も進み、貸出数も多いとは言えません。低予算でもできる廃校利用したり、宇佐美、伊豆高原と分散

してはどうか。箱モノではなく、中身を充実させて、もっと身近に利用できる図書館のシステムを考えたいです。行政、市民が同じテーブルで意見を出し合うのもいいですね。

記者）市長は会派に属さず孤高の活動をされてきました。今後の議会運営についてはどうお考えですか。

議会は議会として独立した機関ですから、是々非々でやっていただきたい。市側と議会は2元対立ですが、大事なことは市民の皆さんのが市政をチェックしていくことで、民意の結実としての選挙結果であると思います。今回今まで投票に行かなかった人や若い人も1票を投じたと言います。自分の1票で政治は変えられるという達成感が市民の政治感覚のベースを作っていくのでは。そういう例があちこちで増えていますよね。



朝日新聞
DIGITAL

記者）確かに施政方針演説を聴くために70ある傍聴席は満席となり、入りきらない人も40人ほどいました伊豆高原からの人も多かったです。「ゆるやかに繋がろう」という市民のネットワークも結成されたようですが。

私の政治への目を開かせてくれたのは伊豆高原を中心としたメガソーラー訴訟です。とても無理だと思われていたことが市民が本気を出し知恵を持ち寄れば、世の中を変えられるという成功体験を持つことができました。これからも共に活動したいですが、私のスローガンでもある「しがらみにとらわれない姿勢」も忘れないようにしたいと思います。

記者）立候補に際し、「義を見てせざるは勇無きなり」と勇気のイメージが強い市長ですが、子供時代は不登校だったこともある意外な一面もお話しです。自分を克己した原動力は何なのでしょうか。

もともとの資質は強い！と思います。でも子供の頃は本を静かに読むのが好きなマイペースというか社交的な子ではなかったです。10歳の時、父が亡くなってそれまで自分をくるんで守ってくれたものが、なくなった。「これからは自分で自分の身を守らなくてはいけない。」と強く意識したように思います。そして大学の活動、社会人と人の中でもまれ、営業活動では人と話さなくては仕事になりませんからね。市長として言った以上はやらねばならぬ、と決意しています。

記者）市長として今後は伊東を守る立場ですね。市長に一つお願いですが、今後もこうした市長へのインタビューや政策点検の機会を設けていただけるでしょうか。

もちろんです。
いつでもどうぞ。一緒に
伊東を作りていきましょう。



【田久保市長 所信表明の要点】

6月16日 伊東市議会において田久保新市長は所信表明演説を行い「伊東を活力のあるまちに再生する」という強い決意を表明された。

- ☆ 市民協働による「活力あるまちづくり」を推進
- ☆ クリーンでしがらみのない市政運営を強調
- ☆ 選挙公約に基づき新図書館建設を中止
- ☆ 図書館機能の再構築に向けた現実の方針を検討
- ☆ 市民の声を政策に反映し、透明性と対話を重視

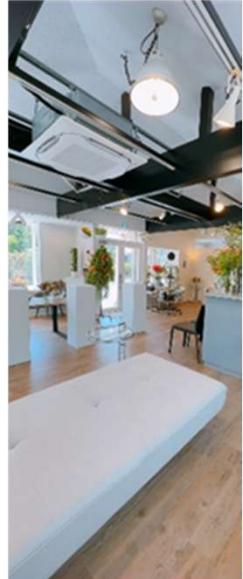


伊東市広報

「アトリエ IZU+」桜並木に新たな空間

今年4月、伊豆高原の桜並木通りに、ひときわ目を引く場所が誕生しました。その名も「アトリエIZU+(プラス)」さっそくお邪魔して、その魅力に触れてきました。

この素敵な空間を手がけるのは、クリエイティブディレクターであり映像監督、そして空間デザイナー、インテリアコーディネーター、さらにフラワー・アレンジメントの講師という、多彩な顔を持つご夫婦です。お話を伺うと、単なるアトリエやワークショップの場にとどまらず、暮らしやアートについて語り合い、人と人が自然に交流できる場を目指しているとのこと。店内に足を踏み入れると、丁寧にセレクトされたインテリア雑貨や色とりどりの花々が目に飛び込んできます。ここは、気軽に立ち寄れる憩いの場として開放されています。



芸術家が多く暮らし、五月祭をはじめとする文化が深く根付く伊豆高原。「アトリエIZU+」もまた、この街に寄り添いながら、ささやかな彩りをプラスできる存在になっていけたらと、オーナー夫妻が静かに語ってくださいました。ここからまた、新たなつながりがたくさん生まれますよう。

ぜひ一度、足を運んでみてください。

八幡野1282-129

IZU+

「伊豆高原駅de夏祭り」

- 童心にかえる伊豆高原の夏 -

日時：2025年7月20(日)
15:00～20:00

会場：伊豆高原やまもプラザ



ステージイベントも充実！

和太鼓の演奏、炭坑節・ソーラン節の盆踊りを、みんなで見て踊って、心も体も弾む夏のひととき

ワークショップも開催！

地元の中高生による「プラ板づくり」や「バスボムづくり」で創る楽しさ体験！

フードエリアには夏の定番が勢ぞろい

ハンバーガー、たこ焼き、クレープ、かき氷など家族みんなが楽しめるグルメも盛りだくさん！



「伊東にこんなに子供がいたんだ！」
驚きの声が駅いっぱいに広がります。

懐かしさに胸を熱くするシニアも、無邪気に走り回る子どもたちも。大人も子どもも、自然と笑顔がこぼれる—そんなひとときがここにあります。夏の午後、ふと心がときめく「祭りの魔法」を一緒にあじわいませんか？ 童心がそっと目を覚ます、忘れられない夏の記憶が、伊豆高原駅であなたを待っています。



伊豆高原駅に無料ドックレスト

いぬポケ 誕生

高原口の大楠を取り囲むように、ウッドチップが引き詰められたスペースがお目見えしました。ワンコフレンドリーな伊豆高原らしい素敵な施設です。伊豆急さんありがとうございます！



【親和会主催イベント】

伊豆半島を深堀り学習！

ユネスコ・ジオパークに認定された伊豆半島を、地学、歴史、文化、植物、海洋などから紐解いて参ります。第1回講演の「地質」に続き、第2回は大室山とその麓の「歴史」を深く掘り下げます。縁あって私たちが住む「伊豆半島ジオパーク」の魅力を共に学びましょう。早速、カレンダーに記入して、お申込みください。

シリーズ第2回講演

大室山の堰止め湖(池)と韭山代官

大室山噴火による堰止め湖(池)の出現から始まる
「平安都城の碑」の歴史秘話と八幡宮来宮神社

講師 芹澤安正先生 伊豆歴史文化研究会会員
伊豆半島ジオパークガイド

日時 7月18日(金)13時30分～15時

場所 ジオテラス伊東 伊豆高原駅舎2階
伊豆半島ジオパーク伊東ビジターセンター

参加料 500円 (当日)

申込は親和会事務所 0557-53-1122
或はeメールshinwakai.events@gmail.com

会場の収容人数に限りがありますので、参加を早速ご予約下さい。



最近、**空き巣** 被害が頻発しています。
戸締りの徹底や防犯対策、また不審な人物や車両を見かけた際は、近隣と情報共有し、防犯意識を高めましょう。

夏の地区連絡会 開催のお知らせ

地区連絡会では、道路・側溝などの補修箇所やゴミ収集など、地区の課題について協議します。より快適な伊豆高原での生活を実現するために貴方のご意見を地区連絡会でお知らせ下さい。地区連絡会への参加は貴方の特権です。

第1地区

7月17日(木) 10:00～12:00
八幡野コミセン2階会議室

第2地区

7月19日(土) 13:30～15:30
八幡野コミセン3階 大会議室

第3地区

7月19日(土) 13:30～15:30
老人憩いの家 城ヶ崎荘

第4地区

7月19日(土) 10:00～12:00
老人憩いの家 城ヶ崎荘

【重要なお知らせ】ゴミ収集日看板の更新中止について

ゴミステーションに掲示している「ゴミ収集日（黄色い看板）」の更新は行いません。

7月以降、新たな掲示板に順次交換する予定ですが、今までボランティアの会員にお願いしていた日程の更新は行いません。なお本誌でのご案内は継続しますので、ご確認をお願いいたします。暫くの間、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



7月のゴミ出し日

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水 金・日	3(木)	3(木)		8(火)		1(火)
	10(木)	10(木)	10(木)			15(火)
	17(木)	17(木)			17(木)	22(火)
	24(木)	24(木)	31(木)	22(火)		29(火)

8月のゴミ出し日

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水 金・日	7(木)	7(木)			7(木)	5(火)
	14(木)	14(木)			12(火)	12(火)
	21(木)	21(木)				19(火)
	28(木)	28(木)	28(木)	26(火)		26(火)